

Enjoy
Concerts

Music Program TOKYO

モーツァルト、ラフマニノフ、ショスタコーヴィチ、プロコフィエフ、
バルトーク……そしてバーンスタイン。
どこまでも進化して深化する、
これがOZONEイズムのクラシック！

小曾根真



©Rob Shanahan

ピーター・
アースキン



©大杉隼平



“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

Makoto Ozone & Peter Erskine “Jazz meets Classic” with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

ピアノ : 小曾根 真 Piano: Makoto Ozone
パーカッション: ピーター・アースキン Percussion: Peter Erskine
ベース : ダレク・オレス* Bass: Darek Oles
指揮 : リオ・クオクマン** Conductor: Lio Kuokman
管弦楽 : 東京都交響楽団** Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra
※第2部のみ Part2 only ※※第1部のみ Part1 only

第1部 バーンスタイン: 「キャンディード」序曲

Part1 Bernstein: "Candide" Overture

バーンスタイン: 交響曲第2番「不安の時代」(ピアノ: 小曾根 真
パーカッション: ピーター・アースキン)

Bernstein: Symphony No. 2, "The Age of Anxiety"

第2部 ジャズ・セッション 小曾根 真×ピーター・アースキン×ダレク・オレス

Part2 Jazz session Makoto Ozone × Peter Erskine × Darek Oles



東京文化
会館

Tokyo Bunka Kaikan

2017年10月14日(土) 17:00 開演
(平成29年) (16:20 開場)
東京文化会館 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

料金(共通) S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 25歳以下1,000円 ※要証明書 4月21日(金)発売

主催: 東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Organizers: Tokyo Metropolitan Government/Tokyo Bunka Kaikan Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

共催: 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団(オリンパスホール八王子公演)

Cosponsored by Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation

協力: 株式会社ヤマハミュージックジャパン

Cooperation: Yamaha Music Japan Co., Ltd.

10月15日(日) 15:00 開演
(14:20 開場)
オリンパスホール八王子

Olympus Hall Hachioji



平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

ARTS
COUNCIL
TOKYO



ジャズやクラシックなどのジャンルを超越した「ザ・ピアニスト」として、チャレンジを続ける小曾根真。今回演奏するのは、指揮者として、また『ウエストサイド・ストーリー』などの作曲家として知られるレナード・バーンスタインの作品。交響曲と題されながらピアノ協奏曲としての姿をもち、ジャズのテイストも内包するというアメリカ音楽の傑作「不安の時代」だ。ウェザー・リポート等のスーパー・グループでプレイしてきたベテラン・ドラマーのピーター・アースキンがこの曲の演奏に参加。第2部はこの2人に、パット・メセニーら蒼々たるミュージシャンと共演してきたベーシスト、ダレク・オレスも加えたトリオが白熱する！

オヤマダアツシ(音楽ライター)



小曾根 真

ピアノ
Makoto Ozone, Piano

1983年パークリー音楽大学ジャズ・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム『OZONE』で全世界デビュー。2003年にグラミー賞にノミネート。以来、ソロ・ライブをはじめゲイリー・パートン、ブランチ・フォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界中のトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグバンド「No Name Horses」を率いて、ジャズの最前線で、活躍を続けている。また、クラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、プロコフィエフ、ラフマニノフなどの協奏曲の演奏でも大きな注目を集めている。2014年にはニューヨーク・フィルのソリストに抜擢され、韓国、日本、ニューヨーク公演で共演。また、サンフランシスコ交響楽団にも招かれるなど、米圏でも躍進を遂げている。近年は、作・編曲にも力を注ぎ、クリエイティブなオリジナル作品を次々と生み出している。
オフィシャル・サイト <http://makotoozone.com/>



ピーター・アースキン

パーカッション
Peter Erskine, Percussion

4歳でドラムを始め、インディアナ大学で打楽器を学ぶ。1972年スタン・ケントン・オーケストラのメンバーとしてキャリアを開始、4年後にメイナード・ファーガソンのバンドに招かれた。その後ロサンゼルスでウェザー・リポートに加入し、『8.30』でグラミー賞を受賞。この頃、フレディ・ハバード、チック・コリアとも共演。のちにニューヨークに移り、ジョン・スコフィールドらと共に活動。この他、ジョニー・ミッチェル、ダイアナ・クラール、エイロー・ジャクソン、ゲイリー・パートンらと共演。これまで600以上のアルバムや映画のサウンド・トラックのレコーディングに参加し、ソロ・アルバムも多数発表。ランディ・ブレッカーらとの『サム・スキャンク・ファンク』で自身2度目のグラミー賞に輝いている。クラシック・アーティストからの信頼も厚く、ソリストとして、ベルリン・フィルハーモニー管、シカゴ響、ロンドン響等から招かれている。2017年12月2日、3日には読売日本交響楽団の定期演奏会で、自身の名前がタイトルとなる、ターネジ作曲：ドラマス協奏曲「アースキン」の日本初演にのぞむ。



ダレク・オレス

ベース
Darek Oles, Bass

ポーランド出身。幼少よりピアノやギターを演奏し、18歳でベースに転向。母国のクラフフでジャズ(作曲、ソロ、コンボ)を学んだのち、1988年に渡米し、ロ

サンゼルスでチャーリー・ヘイデンに師事した。ブラッド・メルド、ビリー・ヒギンス、パット・メセニー、ジョー・ロバノ、エディ・ヘンダーソン、チャールズ・ロイド、ジョン・アパークロンビー、ベニー・モウビン、リー・コニツ、アラン・バスカア、アンソニー・ウィルソン、ピーター・アースキンらと共演。これまで約100枚のアルバムのレコーディングに参加し、グラミー賞にも数度ノミネート。アメリカ、ヨーロッパ、アジアで積極的な演奏活動を行うかわら、2002年よりカリフォルニア大学アーバイン校で後進の育成にも励んでいる。



リオ・クオクマン

指揮
Lio Kuokman, Conductor

2015/16年シーズンまでフィラデルフィア管の副指揮者を務め、現在同団のアジア常任指揮者。ラトルやティルソン・トマス、レヴァインらのマスタークラスに参加、第1回シカゴ響・ショルティ国際コンクールではファイナリストに進み、14年のスヴェトラノフ国際コンクールでは優勝した。フィラデルフィア管のほか、フランス国立放送フィル、ソウル・フィル、デンマーク国立響、シンフォニア・ヴァルソヴィアなどに客演し、オペラではマリンスキー劇場などで『フィガロの結婚』や『カルメン』『トゥーランドット』などを指揮している。ラ・フォル・ジュルネや北京国際音楽祭などにも参加。ピアニストとしても活躍し、カメラータ・ザルツブルクや中国国立響にソリストとして招かれた。

東京都交響楽団

管弦楽
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者、ヤクブ・フルチャが首席客演指揮者を務める。定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室、多摩・島しょ地域での訪問演奏や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー交響曲集1』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)まで多岐にわたる。2013年には、「プラハの春」音楽祭に出演、創立50周年を迎えた2015年にはベルリン・ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。《首都東京の音楽大使》として、来る東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化を目指している。
オフィシャル・サイト <http://www.tmsio.or.jp/>

小曾根 真ワークショップ

「自分で見つける音楽Vol.5」

10月11日(水) 19:00開講 会場: 東京文化会館 小ホール

聴講料: 一般1,500円/25歳以下1,000円(全席自由)

発売日: 4月21日(金)・都響ガイドでのチケット取扱いはありません。



Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する(Enjoy Concerts)、海外の教育普及機関などと連携した(Workshop Workshop)、そのほかの教育普及プログラムを(Music Education Program)として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

チケットのお申込み

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

都響ガイド 03-3822-0727 イープラス <http://eplus.jp/t-bunka/>

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 32766] チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 329-751]

※25歳以下は東京文化会館チケットサービス、八王子のみ取扱い。 ※やむを得ない事情により、内容を変更又は中止する場合がございますので予めご了承ください。 ※未成年者の入場はご遠慮ください。 ※10/14のみ託児サービス(要予約・有料・10/6(金)17時締切)があります。 イベント託児・マザーズ: 0120-788-222

10/15公演のみ

<販売窓口> (9:00~19:00 ※発売初日10:00~)

オリンパスホール八王子 042-655-0809 いちようホール 042-621-3001

南大沢文化会館 042-679-2202 八王子学園都市センター 042-646-5611

<電話予約> (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 042-621-3005(9:00~17:00 ※発売初日13:00~)

【お問合せ】 東京文化会館 事業企画課 電話: 03-3828-2111(代表) HP: www.t-bunka.jp Twitter: @tbunka_official

